

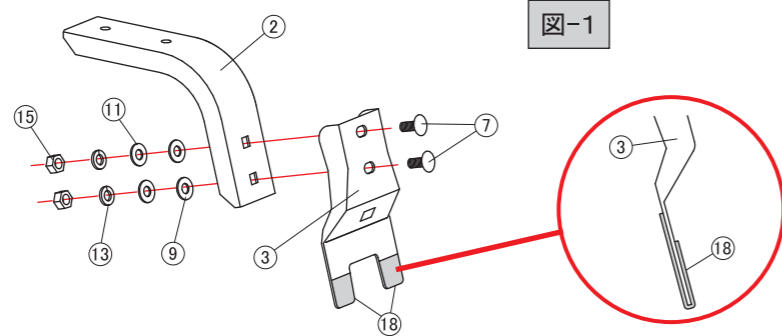


## 組立て方法

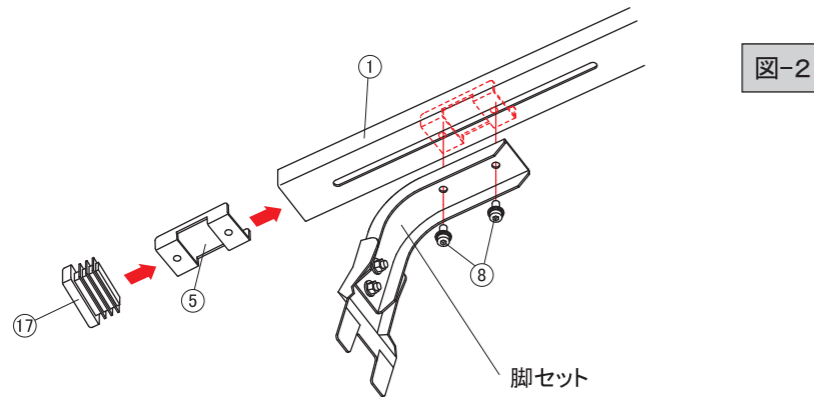
△注意 ・キャリアの組立て時は滑り止め付軍手を使用してください。  
 ・キャリアの組立て時にラチェットレンチを使用の場合は締め過ぎによりボルトやナットの破損の恐れがある為、締め過ぎには十分に注意して締付けてください。指示のない締付けの目安はバネ座金の口が閉じてから90度程度回るぐらいです

- ③インナーランプに⑩塩ビシートの離型紙を剥がして貼ってください。  
 ③インナーランプと②脚ステーを⑦角根ボルトM6、⑨ナイロンワッシャー、⑪平座金M6、⑬バネ座金M6、⑮六角ナットM6にて締付け、脚セットを組立ます。〔図-1〕

△注意 ⑮六角ナットの締め過ぎによる⑦角根ボルトM6の破損の恐れがある為十分に注意して締付けてください。締付けの目安はスパナで⑬バネ座金M6の口が閉じてから⑮六角ナットM6が90度程度回るぐらいです。



- ①フレームパイプに⑤ナットプレートを通し「1」で組立てた脚セットを⑧キャップボルトセットM6にて脚セットがスライドする程度に仮組付けをし、最後に⑰フレームキャップをはめます〔図-2〕



## キャリアの取付け位置

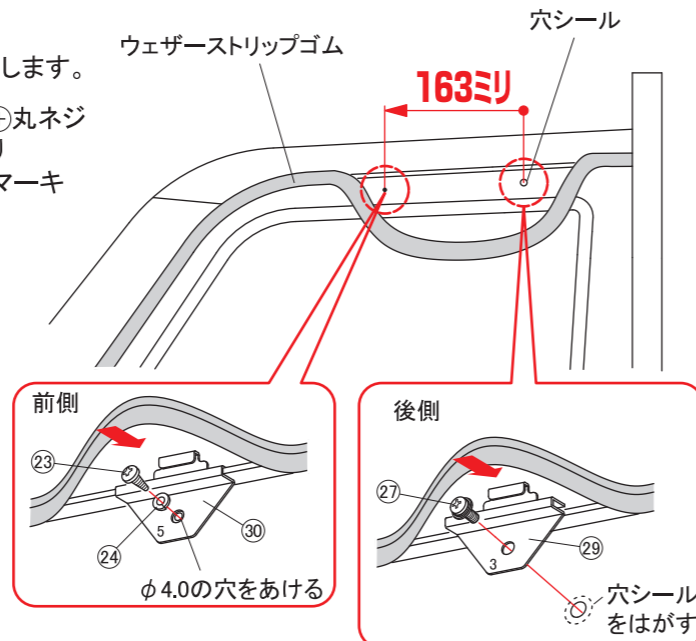
### 旧サンバートラック(TT系)の場合

- ウェザーストリップゴムの全体を確実につかんで図のように外します。
- 穴シールをはがし、⑲インナーフック③をレールに差込み、⑳丸ネジセットM6にてしっかりと締付けます。前側の取付けは後側より163ミリ前方に㉑インナーフック⑤をあてがい丸穴の中心にマーキングをしてドリルでφ4.0の下穴をあけます。

△注意 必ず下穴をあける際はφ4.0を守ってください。φ4.1以上になりますと締付効果がなくなってしまうユルミや外れが発生する為、慎重に行ってください。

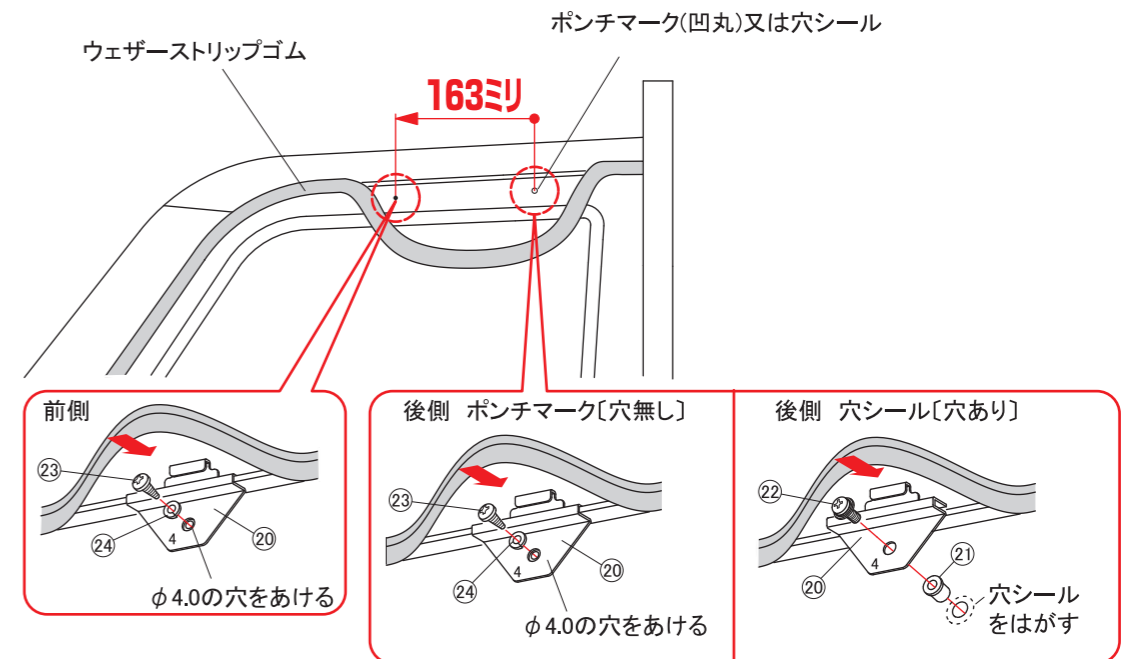
- ⑳インナーフック⑤をレールに差込み、㉒バネ座金M5、㉓タッピングビス5ミリにて締付けます。

△注意 締付けの際は締め過ぎによる㉓タッピングビスの空回りの恐れがある為慎重に行ってください。締付けの目安は㉒バネ座金M5の口が閉じる程度です。



### 旧ミニキャブ・旧クリパートラックの場合

- ウェザーストリップゴムの全体を確実につかんで図のように外します。



- 後側の取付け穴の有無〔ポンチマーク(凹丸)又は穴シール〕を確認してから作業を行ってください。

【ポンチマーク(凹丸) “穴無し” の場合】

後側のポンチマークにドリルでφ4.0の下穴をあけます。

△注意 必ず下穴をあける際はφ4.0を守ってください。φ4.1以上になりますと締付効果がなくなってしまうユルミや外れが発生する為、慎重に行ってください。

- ㉑インナーフック④をレールに差込み㉒バネ座金M5、㉓タッピングビスにて締付けます。

△注意 締付けの際は締め過ぎによる㉓タッピングビスの空回りの恐れがある為慎重に行ってください。締付けの目安は㉒バネ座金M5の口が閉じる程度です。

- 前側の取付けは後側のインナーフックから163ミリ前方に㉑インナーフック④をあてがい丸穴の中心にマーキングをして後側同様にドリルで下穴をあけ㉒バネ座金M5、㉓タッピングビス5ミリにて締付けます。

【穴シール “穴あり” の場合】

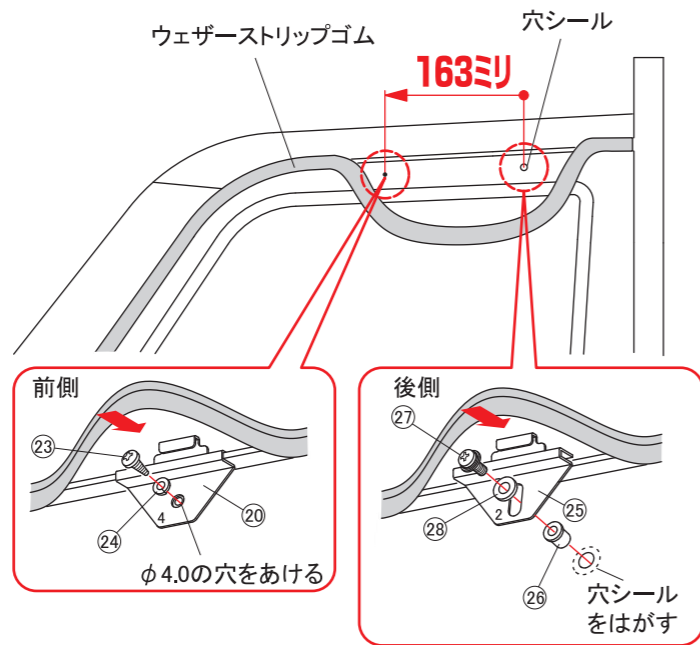
後側の穴シールをはがし、㉑ウェルナットM5を穴に入れ㉑インナーフック④をレールに差込み ㉒丸ネジセットM5にてしっかりと締付けます。前側の取付けは後側より163ミリ前方にドリルでφ4.0の下穴をあけ㉒バネ座金M5、㉓タッピングビス5ミリにて締付けます。

△注意 必ず下穴をあける際はφ4.0を守ってください。φ4.1以上になりますと締付効果がなくなってしまうユルミや外れが発生する為、慎重に行ってください

△注意 締付けの際は締め過ぎによる㉓タッピングビスの空回りの恐れがある為慎重に行ってください。締付けの目安は㉒バネ座金M5の口が閉じる程度です。

## 旧ハイゼット・旧ピクシス・旧サンバー(S201J系)トラックの場合

1. ウェザーストリップゴムの全体を確実につかんで図のように外します。



2. 穴シールをはがし、⑫ウェルナットM6を注意して穴に入れます。  
⑫インナーフック②をレールに差込み ⑫平座金M6、⑬⊕丸ネジセットM6にてしっかりと締付けます。

△注意 ⑫ウェルナットM6を穴に強く押し入れるとその勢いで ⑫ウェルナットM6を車両の中に落とし込んでしまう恐れがあります。⑫ウェルナットM6を穴に差込む時や ⑫インナーフック②を ⑬⊕丸ネジセットM6で締付ける際は⑫ウェルナットM6の中のナット部にネジが掛かるまでゆっくり慎重に行ってください。

3. 前側の取付けは後側より163ミリ前方に⑫インナーフック④をあてがい丸穴の中心にマーキングをしてドリルでφ4.0の下穴をあけます。

△注意 必ず下穴をあける際はφ4.0を守ってください。  
φ4.1以上になりますと締付効果がなくなってしまうユルミや外れが発生する為、慎重に行ってください

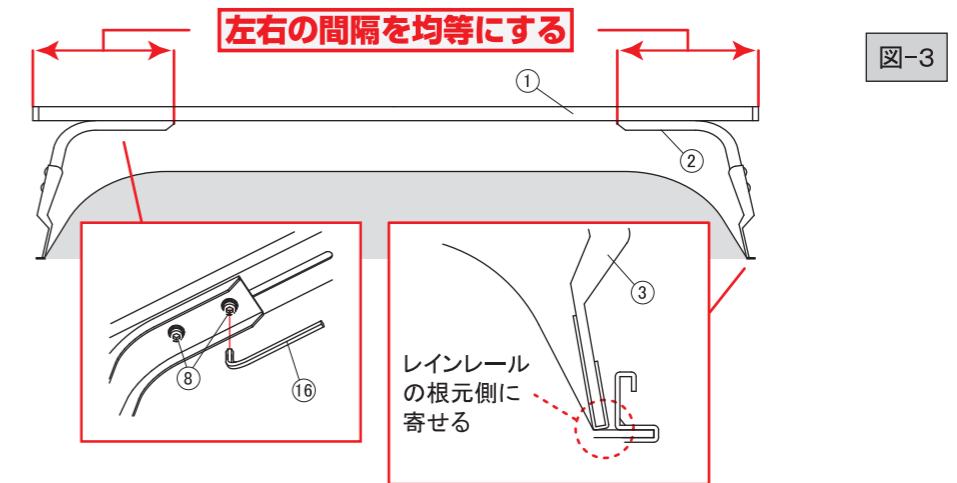
4. ⑫インナーフック④をレールに差込み⑭バネ座金M5、⑮タッピングビス5ミリにて締付けます。

△注意 締付けの際は締め過ぎによる ⑮タッピングビスの空回りの恐れがある為慎重に行ってください。  
締付けの目安は⑭バネ座金M5の口が閉じる程度です。

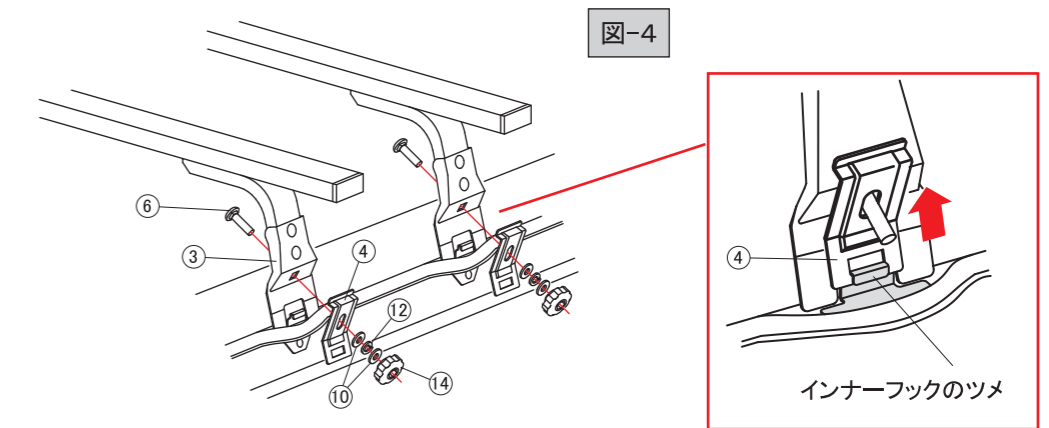
## 取付け方法

△注意-キャリアの取付け時は、必ず二人以上で行ってください。ルーフのキズやヘコミ、キャリアの破損の防止になります。

1. 「キャリアの取付け位置」で取付けたインナーフックの中心に③インナークランプの中心が来るようにキャリアをルーフに載せます。③インナークランプの下端をレインレールの根元側に寄せた状態で②脚ステーと①フレームパイプの間隔が左右均等になるように調整し⑧キャップボルトセットM6を⑩L型レンチにてしっかりと締付けます。〔図-3〕



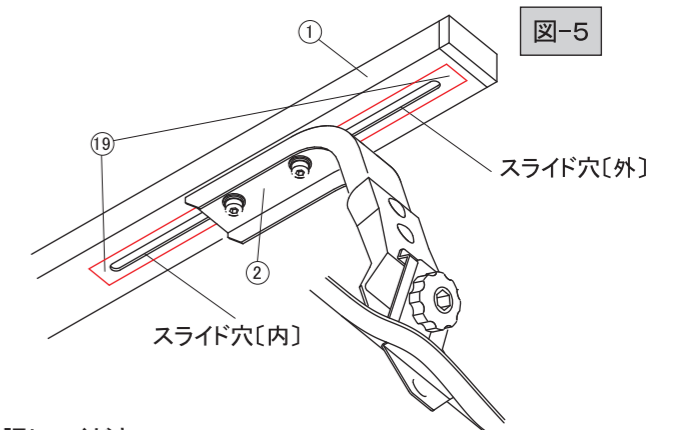
2. ③インナークランプの裏側から⑥角根ボルトM8を通し④アウトークランプの角穴をインナーフックのツメに引っ掛け、⑩平座金M8、⑫バネ座金M8、⑬平座金M8、⑭締付けノブの順でしっかりと締付けます。〔図-4〕



3. キャリアを取付け後①フレームパイプ下のスライド穴(長穴)を⑮塩ビテープで塞ぎます。  
スライド穴は②脚ステーの取付面の「内」と「外」に分割されますので⑮塩ビテープを必要な長さにカットして貼ってください〔図-5〕

△注意 この作業を怠ると走行時に笛を吹いたような異音が発生し、また雨天や洗車時には水が浸入するためサビ発生の原因になります。お忘れなく必ず塞いでください。

**重要**



3. 最後に前後左右にキャリアをゆすり、ガタツキが無い事を確認してください。  
ガタツキがある場合は再度、取付け直してください。